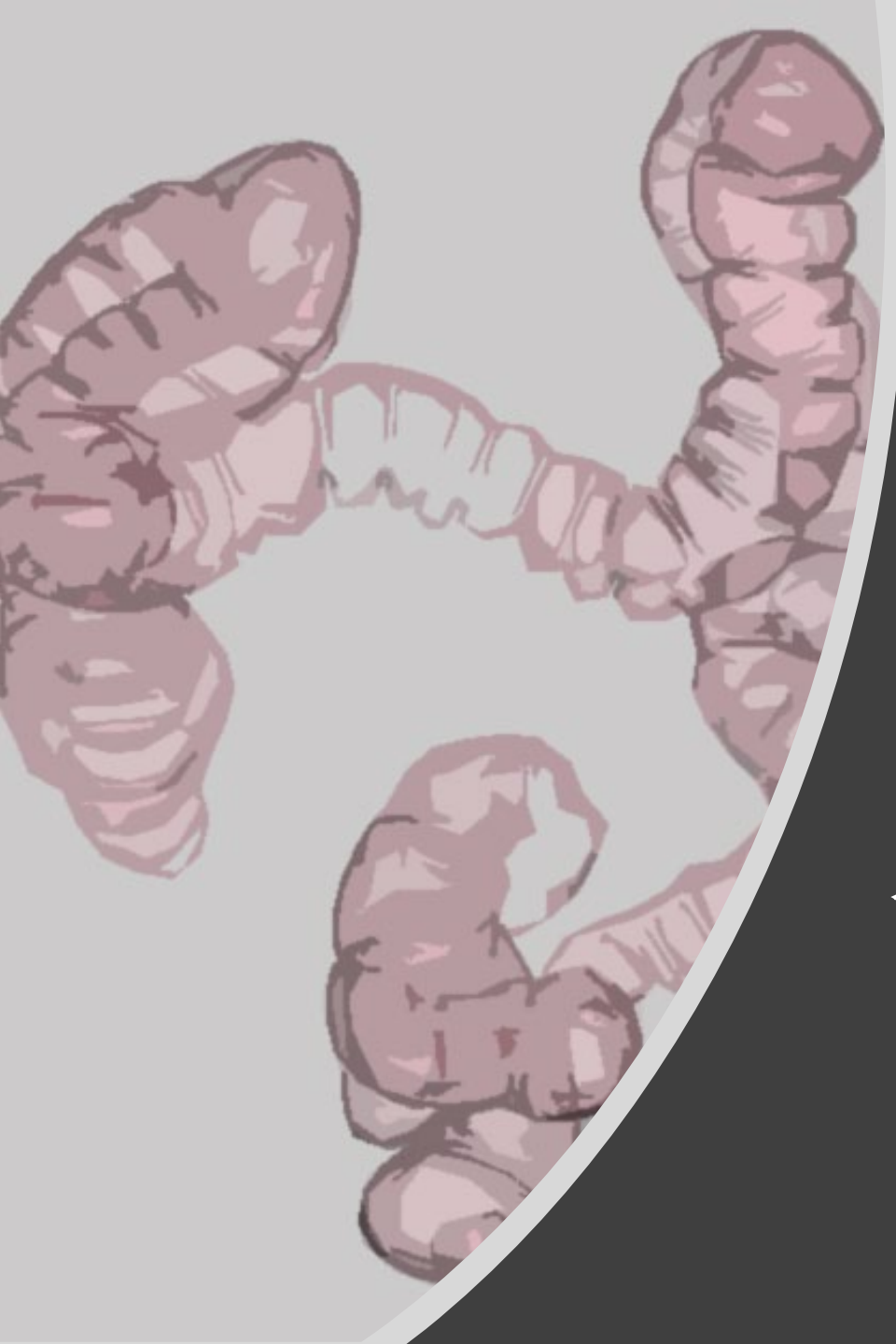


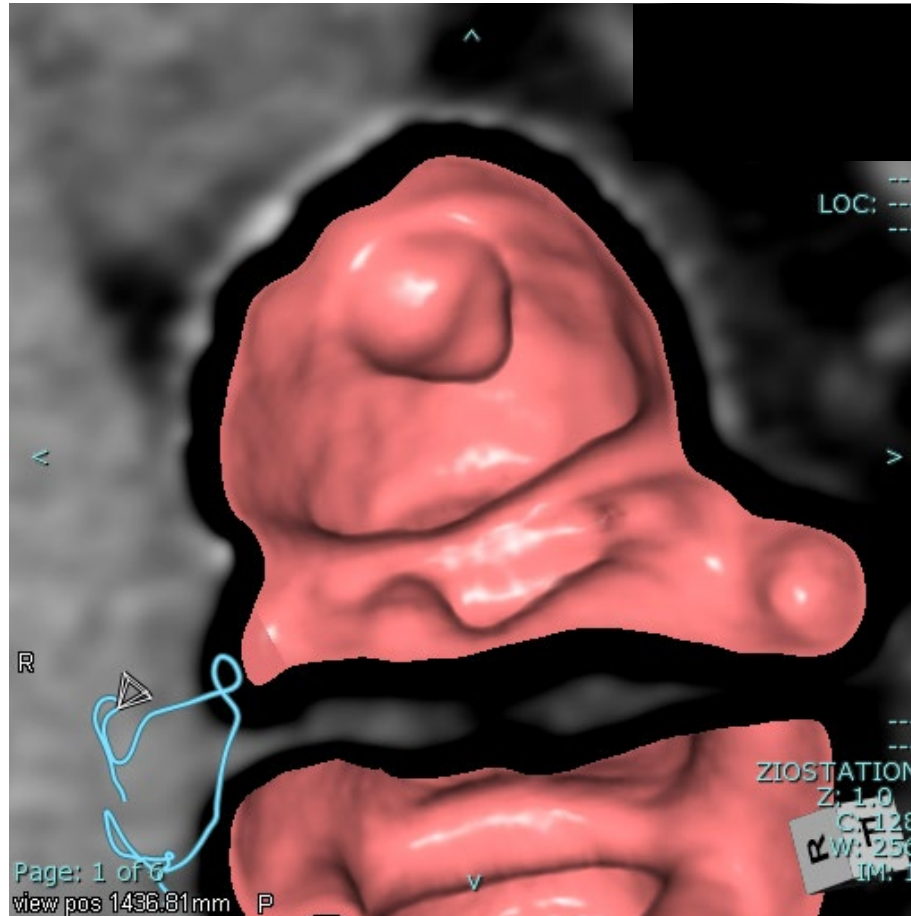
*CTCメルマガ vol.9
2023.3.24*



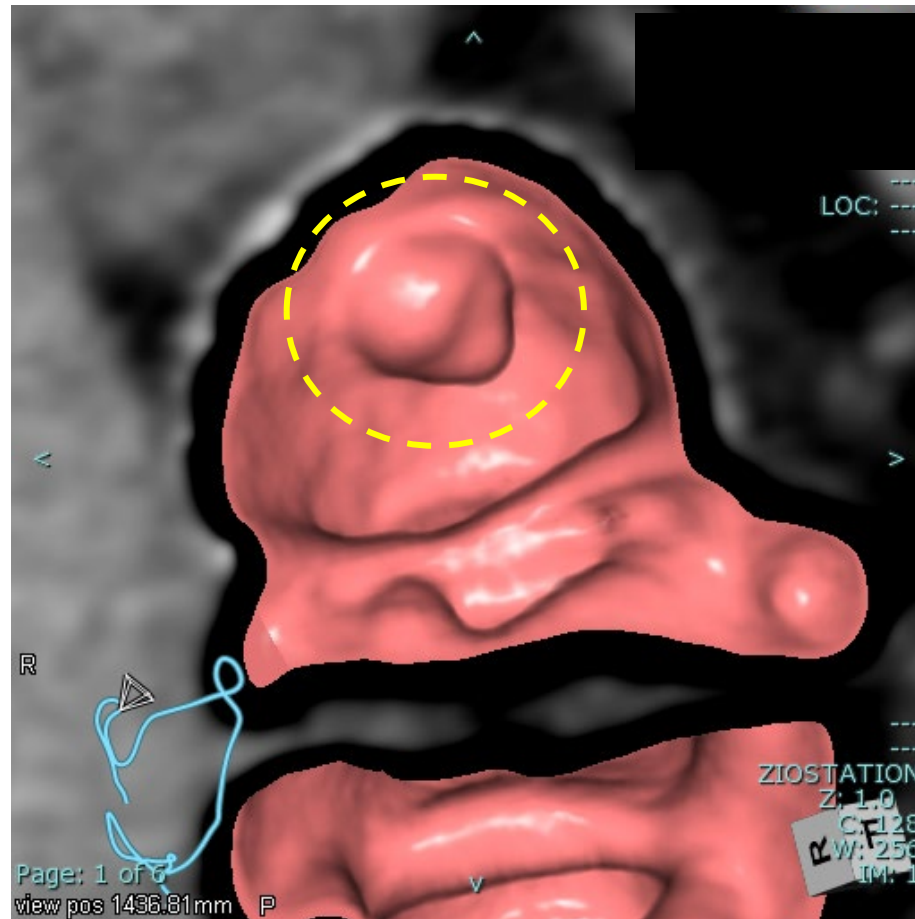
タギングとは何ぞや？

*Presented by Daisuke Tsurumaru
Radiology Dept. Kyushu Univ.*

いきなりですが・・・病変ありますか？

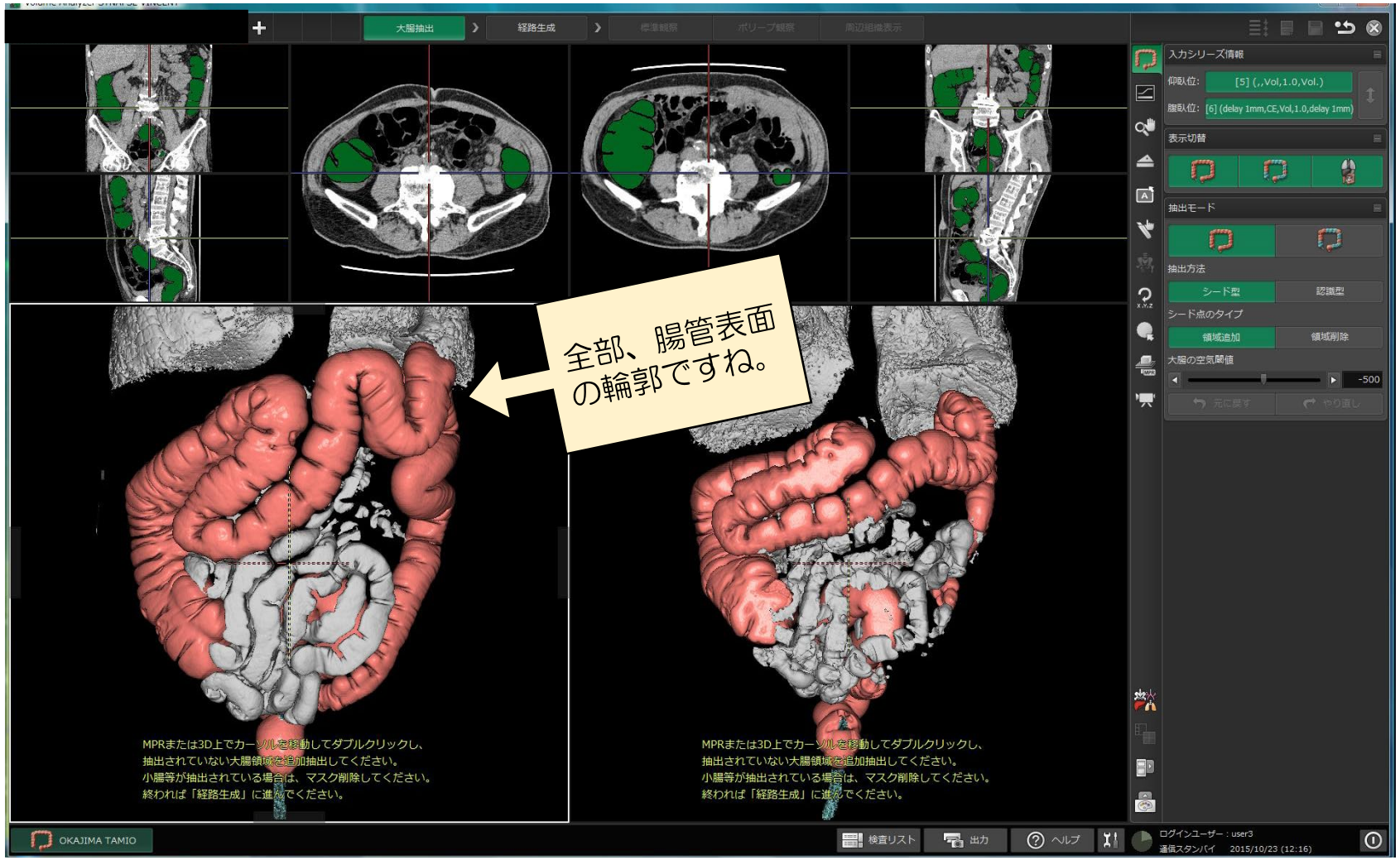


そうです！隆起があります！



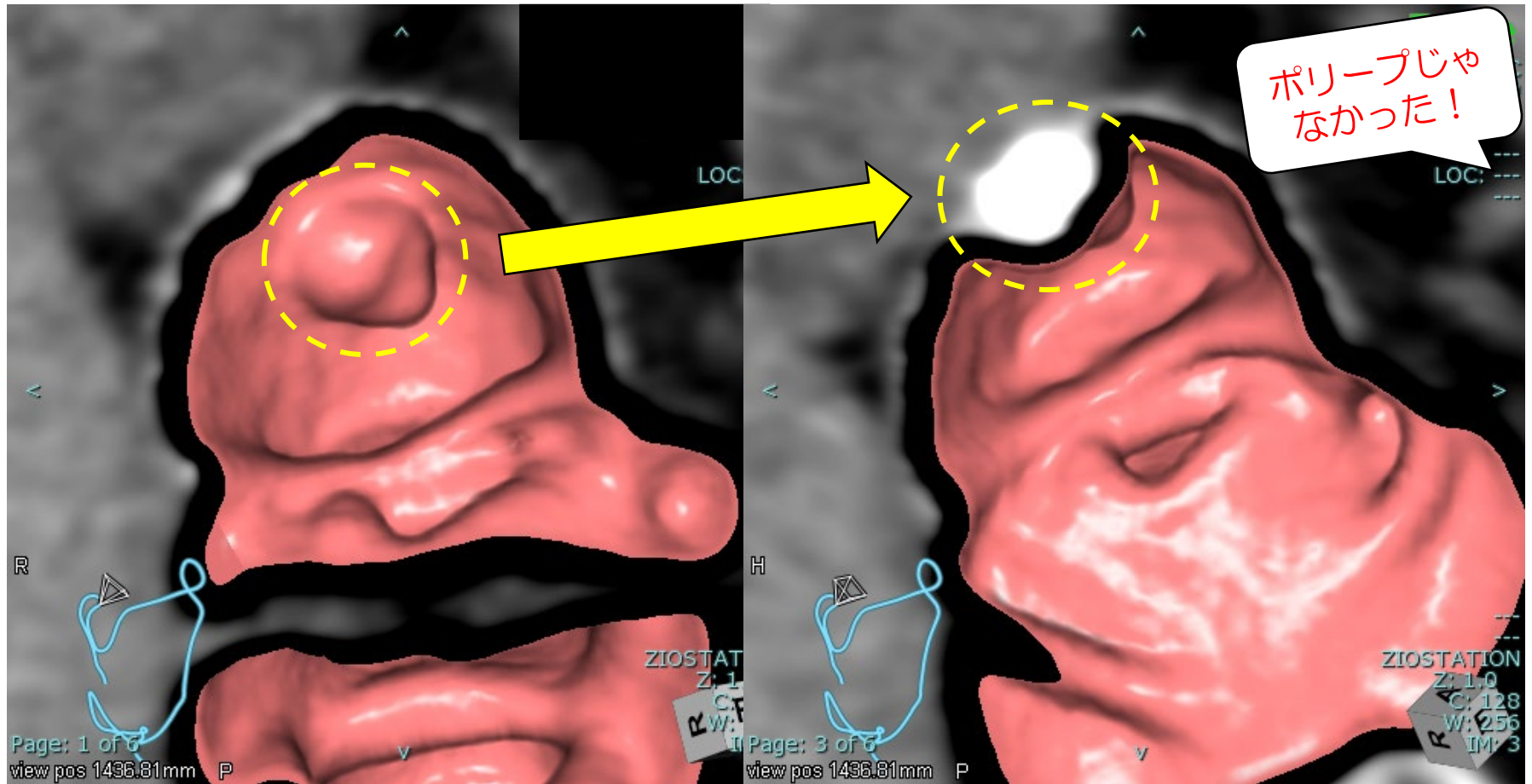
いや、待て。便塊かもしれません。

CTCはあくまでも腸管内の空気（炭酸ガス）を拾い上げる画像です。



なので、便塊がポリープに見えることがあります。

タギングとは、それを逆手にとって便や腸液を高吸収に標識する手法です。



タギング可能な薬剤は二種類です。

- **コロンフォート内用懸濁液25%***

 伏見製薬所 FUSHIMI Pharmaceutical Co Ltd

- **ガストログラフィン経口・注腸用（保険適用外）**

大腸CT用経口造影剤

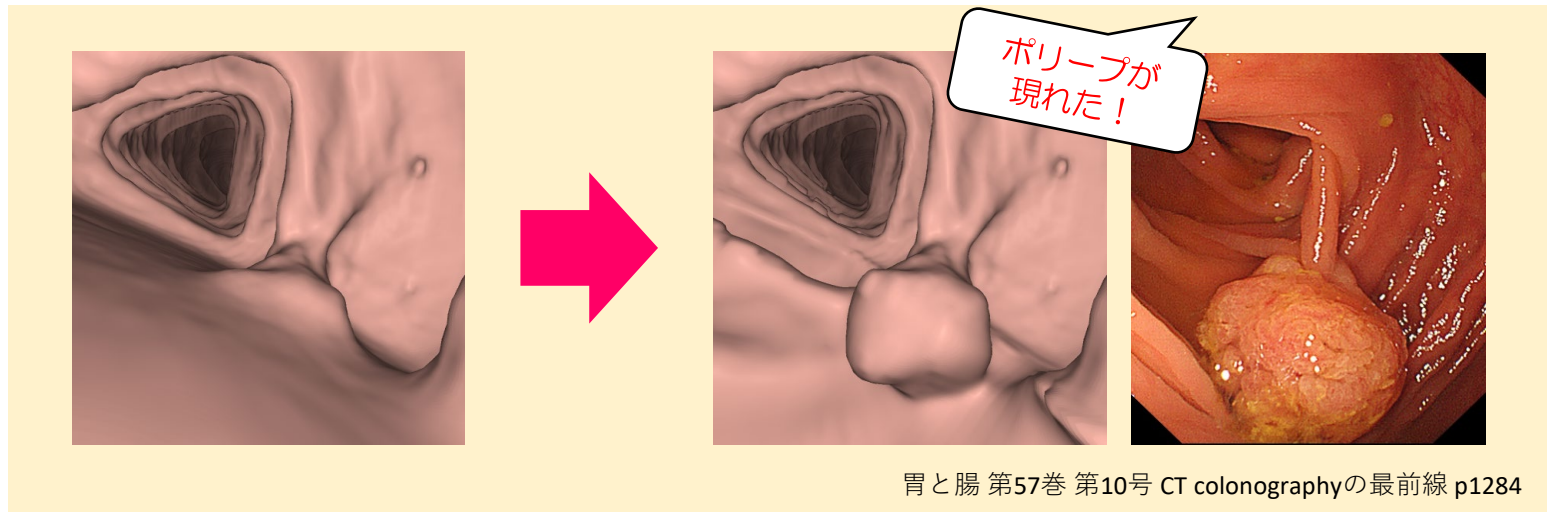
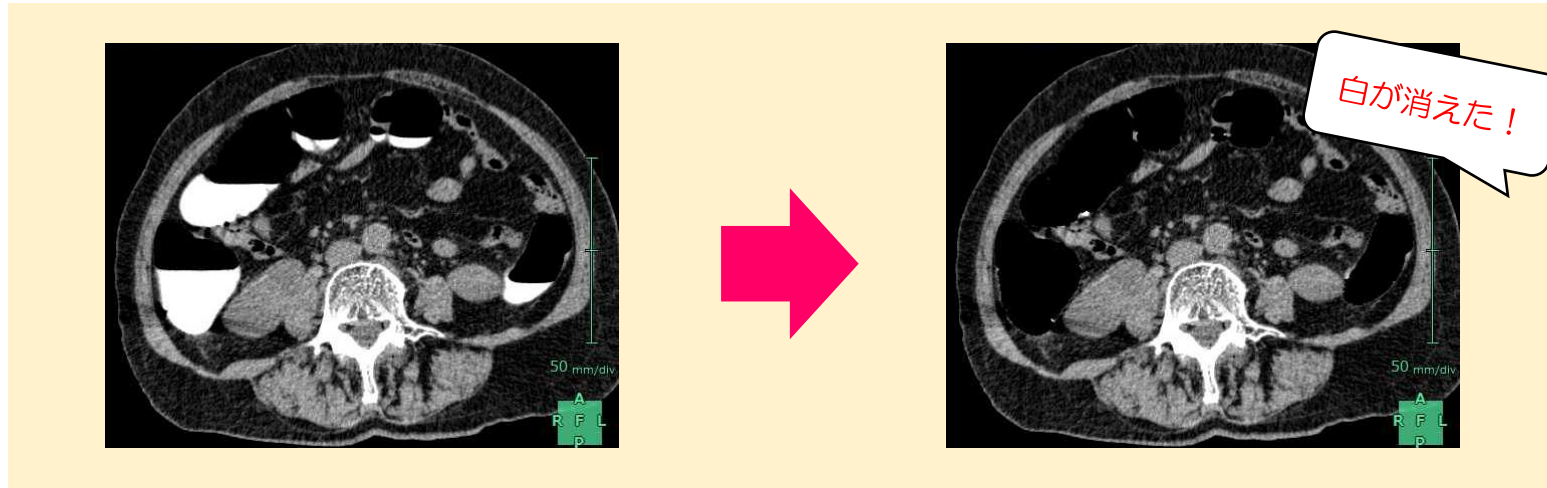


用法及び用量

通常、成人には、本剤1回32mL（硫酸バリウムとして8g）を検査前日から毎食後に3回経口投与する。

* http://www.fushimi.co.jp/for-medical-personnel/medicine1/pdf/colomfort_p.pdf

タギング製剤を除去することも可能です！（電子洗浄）



タギングが上手くいけば、理論上、大腸内の残便・残液を全て取り除く必要がなくなります！

前処置の低減⇒検査受容性↑

内視鏡よりも受けやすいかも！

注) ただし、タギングが上手い場合もあるので、工夫が必要です。

残液とタギング製剤が二層化（しくじり症例）

